

マンスリーメンテナンス マニュアル

Celsis Advance II / Celsis Accel

月に一度、Maintenance & Cleaning kit を使用して、流路系の洗浄を実施してください。

用意するもの

- ◇ Maintenance & Cleaning kit (商品コード : CLS92828)
- ◇ Priming cuvettes (商品コード : CLS1280139)

DAY 1

インジェクターのクリーニング

1. Celsis 機器の電源を入れます。
2. "Accel.im"ソフトウェアを起動してログインします。
3. 画面上部のメニューバーから[Maintenance]を選択します。
4. [Operations]のメニューボックスから[Startup]を選択します。
5. [Reagent Injector Position]は[All]を選択し、[Next]を押して次に進みます。
6. 9本の Priming cuvette を 1 番のポジションから間隔を空けずに機器にセットし、[Next]を押して次に進みます。
※Injector P を使用している場合は 12 本の Priming cuvette をセットしてください。
7. Washing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Maintenance & Cleaning kit の Reagent 1 を Injector 1~3 に取り付け、[Next]を押して次に進みます。Washing の工程が始まります。
※Injector P を使用している場合は Injector P にも取り付けてください。
8. Washing の終了後、Rinsing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 1 を取り付けたまま、[Next]を押して次に進みます。Rinsing の工程が始まります。
9. Rinsing の終了後、測定用試薬の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 1 を取り付けたまま、[Next]を押して次に進みます。
10. 各試薬の残量を"10 (mL)"と入力し、[Next]を押して次に進みます。Priming の工程が始まります。
11. Priming の終了後、[Close]を押します。cuvette を取り出して廃棄します。
12. Reagent 1 を各インジェクターに取り付けたまま、20 時間以上置きます。



DAY 2

インジェクターの消毒

1. Celsis 機器の電源を入れます。
2. "Accel.im"ソフトウェアを起動してログインします。
3. 画面上部のメニューバーから[Maintenance]を選択します。
4. [Operations]のメニューボックスから[Start up]を選択します。
5. [Reagent Injector Position]は[All]を選択し、[Next]を押して次に進みます。
6. 9本の Priming cuvette を 1 番のポジションから間隔を空けずに機器にセットし、[Next]を押して次に進みます。
※Injector P を使用している場合は 12 本の Priming cuvette をセットしてください。
7. Washing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Maintenance & Cleaning kit の Reagent 2 を Injector 1~3 に取り付け、[Next]を押して次に進みます。Washing の工程が始まります。
※Injector P を使用している場合は Injector P にも取り付けてください。
8. Washing の終了後、Rinsing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 2 を取り付けのまま、[Next]を押して次に進みます。Rinsing の工程が始まります。
9. Rinsing の終了後、測定用試薬の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 2 を取り付けのまま、[Next]を押して次に進みます。
10. 各試薬の残量を"10 (mL)"と入力し、[Next]を押して次に進みます。Priming の工程が始まります。
11. Priming の終了後、[Close]を押します。cuvette を取り出して廃棄します。
12. 3~11 の工程をさらに 2 回繰り返します（合計 3 回）。
13. 全ステップを終えたら、Reagent 2 を各インジェクターに取り付けのまま、30 分以上 1 時間以内置きます。



Celsis Rapid Microbial Detection System

DAY 2 (続き)

インジェクターのリンシング

1. 画面上部のメニューバーから[Maintenance]を選択します。
2. [Operations]のメニューボックスから[Start up]を選択します。
3. [Reagent Injector Position]は[All]を選択し、[Next]を押して次に進みます。
4. 9本の Priming cuvette を 1番のポジションから間隔を空けずに機器にセットし、[Next]を押して次に進みます。
※Injector P を使用している場合は、12本の Priming cuvette をセットしてください。
5. Washing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Maintenance & Cleaning kit の Reagent 3 を Injector 1-3 に取り付け、[Next]を押して次に進みます。Washing の工程が始まります。
※Injector P を使用している場合は Injector P にも取り付けてください。
6. Washing の終了後、Rinsing Solution の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 3 を取り付けたまま、[Next]を押して次に進みます。Rinsing の工程が始まります。
7. Rinsing の終了後、測定用試薬の取り付けを指示するメッセージが表示されますが、Reagent 3 を取り付けたまま、[Next]を押して次に進みます。
8. 各試薬の残量を"10 (mL)"と入力し、[Next]を選択します。Priming の工程が始まります。
9. Priming の終了後、[Close]を押します。cuvette を取り出して廃棄します。
10. 3~11 の工程をさらに 2 回繰り返します (合計 3 回)。
11. 以上でマンスリーメンテナンスの作業は終了です。このあとサンプルを測定する場合は、続けて通常の Start up をおこなってください。機器を使用しない場合は、通常の Shutdown 作業をおこなってください。



株式会社ベリタス

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-16 住友浜松町ビル 6 階

TEL: 03-5776-0078 (代) FAX: 03-5776-0080

技術的なお問い合わせ Email: Tech_support@veritastk.co.jp TEL: 03-5776-0040